

《住居環境科 アドミッション・カリキュラムポリシー》

建築の仕事のやりがいは、自分が携わった建物が長い間残るということです。

一概に「建築」といっても、住宅やオフィスビル、店舗、劇場など様々であり、それらが建てられた目的も様々です。

また、建築関連の仕事も設計士やインテリアデザイナー、現場監督、大工職だけでなく、多くの専門職があり、住宅であっても超高層ビルであっても、これら多くの専門職の、それぞれの高度な技術力の結集とチームワークによってつくられています。

最初はむずかしいことばかりかも知れませんが、本校での2年間の学生生活で昨日よりは今日、今日よりは明日という小さな知識や実習の積み重ねによってあなたは大きく成長することができるでしょう。

あなたの子供や孫に「あの建物は自分がつくった」と語りませんか。

住居環境科では「どんな小さな事でも吸収してやろう」という探究心旺盛でチームワークを大切にする学生を求めます。

住居環境科では、教科書などから得られる知識だけではなく、さらに実験・実習、更には工事現場の見学やインターンシップを通して、「ノミ研ぎからデザインまで」をモットーに建築における幅広い分野で高度な職業能力を身につけます。

就職にあたって、最近では資格を持っているだけでは十分とは言えず、「何ができるか」が重要になってきました。住居環境科では、少人数制によるきめ細やかな実学融合教育により、建築の設計・デザイン、施工関連の広い分野で「～ができる」を仲間と一緒に知恵と汗を絞り出しませんか。

Key Word

優れた技術者は、同時に優れた技能者である。